[平成28年度遠野市長施政方針演述]　＝概要＝

「第2ステージの、スタートダッシュを。」

施政方針とは、新年度の市政運営に対する考えや主要事業について示すもの。平成28年３月の市議会定例会で、本田敏秋遠野市長が表明した「遠野市長施政方針演述」の概要をお知らせします。

【お知らせ】　演述の全文は、市ホームページに掲載しています。　遠野市　検索

新・遠野市誕生から10年。次の10年も「遠野スタイル」で。

新・遠野市が誕生して10年。この10年は、「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向け、市民の皆さまと知恵を出し合い、遠野スタイルの理念のもと、各種施策に取り組んできました。遠野市総合計画後期基本計画では、主要事業とまちづくり指標のいずれも、概ね達成することができました。今後も、遠野スタイルによるまちづくりにこだわりを持ち続けます。

東日本大震災で知った絆のチカラ。後方支援と防災力をさらに。

私たちは、東日本大震災から、人と人の絆、地域と地域のつながり、自治体間の水平連携が大切であることを学びました。市内には、98世帯252人が、いまだに避難生活を余儀なくされています。仮設住宅「希望の郷　絆」などで暮らしている被災者が、一日も早く安心して生活できる環境整備を、関係機関と協議します。さらに、遠野の後方支援の取り組みと防災体制を再確認します。

第2ステージは、「計画」と「戦略」で加速。

本年から、今後10年間のまちづくりの指針となる、第2次遠野市総合計画（以下、第2次総合計画）がスタートします。計画では、この10年の取り組みを継承し、「遠野スタイルの創造・発展」を基本理念に、将来像を「永遠の日本のふるさと遠野」としました。

同時に、人口減少に歯止めをかけるため、総合計画の共通優先方針に集中的に取り組む「遠野スタイル創造・発展総合戦略」（以下、総合戦略）も策定しました。

平成28年度予算は、第2ステージに向け「遠野スタイル　スタートダッシュ予算」と位置付け、総額188億6千万円で編成。第2次総合計画の確実な実行と総合戦略よる事業の重点化を図るため、特に▽まちなか再生▽2つの優先課題の「産業振興・雇用の確保」と「少子化対策・子育て支援」▽地域コミュニティーの再構築―の3つの取り組みを加速します。

東北横断自動車道釜石―秋田線の全線開通や国道340号立丸峠のトンネル化など、交通環境の変化をチャンスと捉え、昨年11月に設置した地域開発戦略推進室を中心に、産業振興や雇用・定住に部局横断で取り組みます。

主要施策を確実に展開し、スタートダッシュを決める。

第2次総合計画基本構想の5つの大綱別に、主要な施策について説明します。

（大綱一）自然を愛し共生するまちづくり

新エネルギービジョンに基づき、一般住宅への太陽光パネルなどの設置助成、防犯灯のLED化などに取り組みます。

宮守町に子育て支援住宅を整備するための用地取得などに着手し、快適な居住環境を整備。また、空家等対策計画を策定し、空家への適切な対応を行います。

新庁舎のICT化、遠野テレビ伝送路の光化、携帯電話通話エリアの拡大を図り、情報基盤を強化します。また、マイナンバー制度に対応した情報セキュリティ対策にも取り組みます。

このほか、消防団員の処遇改善を図り、安心・安全な地域をつくります。

（大綱二）健やかに人が輝くまちづくり

スポーツ活動や食育、保健指導の充実を図り、健康寿命の延伸を図ります。

「生活困窮者自立支援法」と「障害者差別解消法」に基づき、関係機関と連携しながら自立支援に取り組みます。

「子育てするなら遠野」をスローガンに、出会いから結婚、妊娠、出産まで切れ目ない子育て支援に取り組みます。医療費給付事業では、現物給付を始めるほか、妊産婦と3歳未満の子を持つ親の所得制限を撤廃します。

（大綱三）活力を創意で築くまちづくり

産業基盤を強化するため、「第二次遠野市農林水産振興ビジョン」に基づき、「大規模園芸団地構想」「和牛増頭対策・耕畜連携の推進」「木質バイオマスの活用」などを具体化します。公共牧場の放牧料は、TPP問題などにより今後の経営に不安感が増しているため、据え置きます。

U・I・Jターン者に対する家賃補助を行うなど、若者の定着を促進します。

花巻空港からの台湾直行便の開始や、東京オリンピックなどを好機と捉え、外国人観光客の受け入れ体制を強化します。

遠野みらい創りカレッジなどと連携し、交流・定住人口の拡大を図ります。また、遠野ローカルベンチャー事業を立ち上げ、首都圏の若者を呼び込みます。

（大綱四）ふるさとの文化を育むまちづくり

新設した「総合教育会議」を通じ、教育委員会と連携した教育振興を行います。県立高校の再編問題については、未来を担う人材育成のため、遠野高と遠野緑峰高の2校存続に向けた活動を展開します。

国指定重要文化財「千葉家住宅」の保存修理工事に着手。また、保存修理が完了した山口の水車小屋の、活用と集落の景観形成を地域と協働で推進します。

（大綱五）みんなで考え支えあうまちづくり

地区計画の策定支援などを通じて、住民主体のふるさとづくりを推進します。

公共施設等総合管理計画に基づき、より適切な施設の維持管理と利活用を検討。利用可能施設や遊休地の売却処分などによる歳入確保にも努めます。

経営改革については、経常経費の削減や職員数の適正化などに取り組むほか、本庁舎の供用開始前までに、行政組織の見直しを進めます。

コンビニエンスストアと郵便局での市税の納付を開始し、利便性を向上させ、適正な賦課と確実な収納を行います。

財政規律と健全財政を堅持するため、遊休地や市有地の売却による自主財源の確保と、経費削減に努めます。

夢なき者に成功無し―。挑戦の気概で未来をデザイン。

これまで進めてきた市民協働の仕組みに自信と誇りを持ち、さらに創造、発展させ、次のステージにつないでまいります。そのためには、「地域づくり」「人づくり」「健康づくり」を一層、発展させなければなりません。そのために、社会福祉協議会、教育文化振興財団、保育協会、消防団などと、市が連携する新たな仕組みを構築します。

平成27年10月の国勢調査の結果が発表されました。本市の人口は、約2万8千人。前回の5年前と比較し、約1300人減少しています。人口減少に歯止めをかけるためには、遠野の未来をしっかりとデザインしなければなりません。

幕末の思想家・吉田松陰の言葉とされるものに、次の言葉があります。

夢なき者に理想なし、
理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし。
ゆえに、夢なき者に成功なし。

市民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、「永遠の日本のふるさと遠野」の実現に向け、挑戦の気概で遠野一丸で取り組んでまいります。

市職員特別職を紹介

3月市議会臨時会が3月29日に開かれ、副市長や教育委員会教育長などの選任について同意されました。

副市長
新 **飛内 雅之**（まさゆき）
（59歳、六日町）
任期は平成32年３月31日まで

【主な経歴】
日本大学卒。昭和55年旧遠野市役所入り。教務課長、教育部長、経営企画部まちづくり再生担当部長、産業振興部長などを務め、本年３月31日退職。

教育委員会教育長
新 **中浜 艶子**（つやこ）
（63歳、上郷町）
任期は平成31年３月31日まで

【主な経歴】
岩手大学卒。昭和50年に公立小学校教諭として着任。岩泉町立大川小学校長、遠野北小学校長などを歴任し、平成25年３月退職。前市教育委員会委員長。

監査委員
再 **佐々木 資光**（もとみつ）
（66歳、穀町）
任期は平成32年５月８日まで

教育委員
新 **菊池 崇**（たかし）
（47歳、宮守町鱒沢）
任期は平成32年３月31日まで

退職者▶▶▶菊池孝二（こうじ）（副市長）、**藤澤俊明**（としあき）（教育委員会教育長）